

農地・水・環境保全向上対策

平成21年度農地・水・環境保全向上対策体制整備構想(案)作成にかかる説明会及び事例発表会(伊勢志摩地区)が開催されました

平成21年8月20日に伊勢市ハートプラザみそのにおいて、伊勢志摩地区(伊勢市、志摩市、鳥羽市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町)で農地・水・環境保全向上対策に取り組む活動組織や三重県、市町、水土里ネットみえの関係者など、109名が参加して「平成21年度農地・水・環境保全向上対策体制整備構想(案)作成にかかる説明会及び事例発表会」が開催されました。

この説明会には、各活動組織が一堂に会することから、相互の情報交換や意見交換を通じて、各地域における農地・水・環境の良好な保全とその質的向上を図り、地域振興に一層活発に取り組んでいただくことを目的として事例発表を併せて開催しました。

主催者である三重県伊勢農林水産商工環境事務所農村基盤室田中俊行室長の挨拶の後、三重県農業基盤室杉井主幹から体制整備構想(案)の作成方法等について説明がありました。

その後、伊勢志摩地区の活動組織より次の発表がありました。

①森区ふるさと保全活動隊(伊勢市)

田植え体験や芋掘り体験、休耕田の活用(ひまわり祭り)、花の定植による景観形成

②柏町みのり会(伊勢市)

コスモス・ルピナス・花菖蒲・ひまわりの植栽、子供会との排水路への竹炭設置・水質検査

③馬瀬町環境整備委員会(伊勢市)

鯉の放流の環境向上活動、あじさいと菖蒲の植栽、看板の設置

④南張美農里保全会(志摩市)

幹線水路の草刈り、子供会による生き物調査

⑤三郷の土と水を守る会(玉城町)

排水路掃除及び補修、メダカの学校、生き物観察会、花いっぱい運動、田植え稲刈り体験、水質調査

⑥長原農業・生活環境施設保全促進委員会(度会町)

排水路等の掃除、獣害対策、花の植栽による環境向上活動、芋掘り・えんどう採りによる交流活動

⑦内瀬農業ふれあい活動組織(南伊勢町)

小学生による田植え体験

最後に三重県農業基盤室辻上正道副室長から挨拶及び講評がありました。

今回の発表会を契機として今後の活動の活性化につなげていただくとともに、当活動によりさらに地域が発展していくことを祈念しております。

各活動組織の発表



平成21年度農地・水・環境保全向上対策伊賀地区事例発表会

平成21年11月4日に三重県伊賀庁舎において、伊賀農林商工環境事務所管内の農地・水・環境保全向上対策の事例発表会が、体制整備構想の説明会と併せて開催されました。

今回の発表会は、活動組織から、「全国の取り組みや、県下の優良事例は会議や雑誌等で紹介されているが、身近なところでの情報交換の機会がない」との声をを受けて開催したものです。

伊賀農林商工環境事務所管内では、名張市で7組織、伊賀市で33組織が取り組みを行っており、それぞれの組織の代表者など80名の参加がありました。

発表会は、油谷敬朗伊賀農林商工環境事務所長、北山太加視伊賀市農村整備課長のあいさつのもと、農業基盤室の杉井主幹から、本事業が将来的に継続していくために、概ね10年後の地域のあるべき姿をとりまとめる「体制整備構想」についての説明があり、続いて、伊賀市の4組織、名張市の2組織からそれぞれの取り組みについて発表がありました。

発表後の質疑では、シバザクラやヒメイワダレソウの生育管理等について質問や、農地・水・環境保全向上対策事業の23年度以降の事業制度等について議論が交わされました。

事例発表会については、地域版の情報交換会という立場で来年以降も開催していきたいと思っています。

関係者の皆様大変ごくろうさまでした。

所長挨拶



各活動組織の発表

・川西保全会（伊賀市）

シジミの生息地の保全を、地域の水質を守る基本活動と位置づけ、浅水代かきや、畜産農家と連携した有機肥料の散布などに取り組んでいます。

・甲野地域環境まもり隊（伊賀市）

景観形成として、農道沿いへのシバザクラおよび、休耕田を利用した菜種の植栽と、混住化に伴う不法投棄対策としての地域ぐるみの環境活動を実施しています。

・富岡地域水土里保全会（伊賀市）

総戸数20戸の小集落ですが、全戸の出役により農道や水路沿いに、景観形成活動として、ヒメイワダレソウやあじさいを植栽しています。

・下友田ふる里保全隊（伊賀市）

希少種となっているメダカの生息環境を保全するため、休耕田を利用して「メダカ池」を造成し、地域の小学校と連携して放流、観察活動を行っています。

・短谷水土里倶楽部（名張市）

地域のボーイスカウトと連携しての田植え体験や、伝統的農法による景観形成活動として水稲刈り取り時に「はさ掛け」、「すすき」を実践しています。

・丈六農地・水・環境保全隊（名張市）

水辺空間の整備として水路の保全作業を全員で行うと共に、子供会と共に水辺の生き物調査を行っています。また有害な外来動物のヌートリアの駆除も実施しています。



平成21年度農地・水・環境保全向上対策 四日市管内イベント「三泗鈴亀農地水の絆」が開催されました

平成21年11月6日に三重県四日市庁舎において、四日市農林商工環境事務所管内で農地・水・環境保全向上対策に取り組む活動組織(四日市市、鈴鹿市、亀山市、菟野町)や三重県、市町、水土里ネットみえの関係者などを対象として、イベント「三泗鈴亀農地水の絆」が開催され、110名の参加者を集めて盛大に行われました。

このイベントは、参加者への環境等への啓蒙、活動組織相互の情報共有や意見交換を通じて、各活動組織が地域における農地保全活動や環境活動の質的向上を図り、地域振興にも役立ててもらうため、管内の活動組織相互の絆を深める目的で開催したものです。

イベントは、主催者代表の三重県四日市農林商工環境事務所の山本直佐所長の挨拶の後、四日市市立南中学校の伊藤博之教諭から「環境問題をどうとらえるか」と題して基調講演があり、農業から見えてくる環境問題として化学肥料の大量使用や地球温暖化の影響、耕作放棄地の増加問題や帰化植物の進出問題を取り上げて環境に優しい農業の紹介がありました。

次に、体制整備構想の説明があった後で昨年度の「みえのつどい2008」で三重県農地・水・環境保全向上対策協議会会長賞を受賞した田光資源と環境を守る会から最近の

所長挨拶



基調講演



活動報告がありました。その後、各市町を代表する活動組織より次のような発表がありました。

①山田町自然を守る会(四日市市)

耕作放棄地の復旧、しがらみ工法、なばなとひまわりとコスモスの植栽

②秋永農地水環境保全会(鈴鹿市)

FRPの堰板、小学校での耕作放棄地の授業参観、消えゆく野の花の保護

③徳原土っ子活動組織(亀山市)

子供達との春の田植えと秋の稲刈り脱穀体験、三世代交流による収穫祭

④菟野町水土里の郷の会(菟野町)

ひまわりとコスモスの植栽、子供との魚観察会と葉ボタン植栽、農業体験として田植えと足踏み脱穀、省力化のための芝桜植栽

そして最後に、参加者と農政局、県、県土連との意見交換があり、農地・水・環境保全向上対策に関する様々な質疑応答がなされて、盛況のうちにイベントは終了しました。

各活動組織の発表

